健康案内

健康づくり

多胎児の会（そらまめの会）

健康課☎725・5422

多胎児を育てている方、これから出産の予定の方及び家族の方の出会える場です。

直接会場へおいで下さい。

○日時　12月11日（月）午前10時～11時30分（9時30分から受付）

○会場　健康福祉会館2階

○内容　保護者同士の交流、情報交換、手遊びなど

お知らせ

定期予防接種

健康課☎725・5422

様々な病気を未然に防ぐため、対象のお子さんをお持ちの方は、定期の予防接種が終わっているか、母子手帳をもう一度確認しましょう。

予防接種の対象年齢と間隔は下表のとおりです。

BCG・ポリオは集団で、三種（二種）混合・麻しん風しん混合（MR）・日本脳炎は個別で実施します。

【BCGについて】

毎月本紙21日号でお知らせします。

【ポリオについて】

適宜本紙でお知らせします。

【麻しん・風しんについて】

4月1日から接種方法等の変更、10月1日から経過措置の設定をしました。

麻しん・風しんは混合ワクチンになり、1歳代と小学校就学前年齢（いわゆる保育園・幼稚園の年長児）の時の2回、接種することになりました。

旧制度対象者（表を参照）に町田市独自制度として2007年3月31日まで、麻しん・風しんどちらか片方が未接種の場合、未接種ワクチンを接種します。

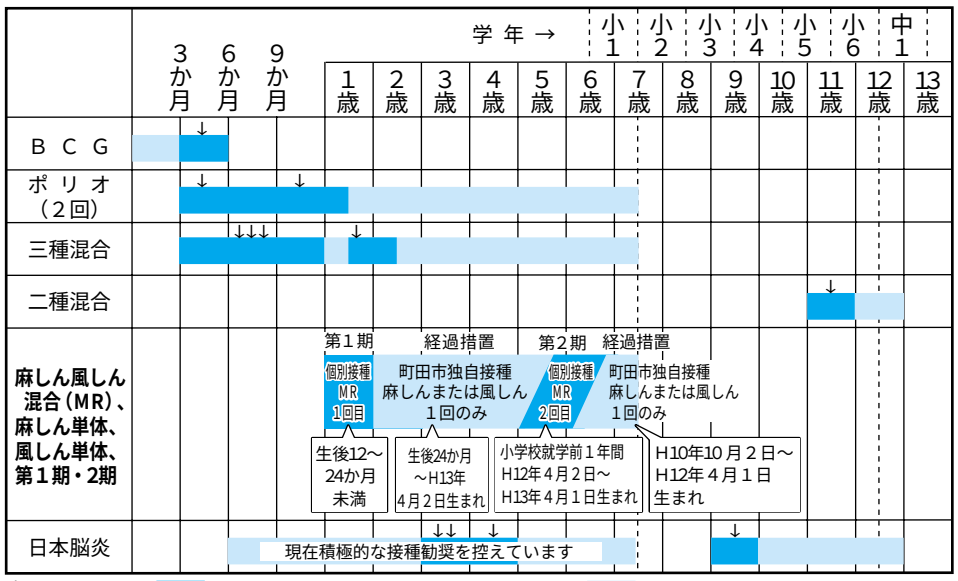
【日本脳炎について】

国からの勧告により、現在積極的な接種勧奨を控えています。

【個別接種について】

町田市医師会の協力で実施するものです。該当するお子さんは近くの実施医療機関でお受け下さい。

予防接種対象年齢表



は法律で定められた予防接種期間です。　は病気にかかりやすい時期を考慮して定めた標準接種期間です。下表の各接種間隔を守って接種して下さい。

他の予防接種との間隔

●各予防接種の一般的な接種回数と間隔

BCG：2005年4月1日から、ツベルクリンが廃止され、直接接種されています。
ポリオ：**6週間以上**の間隔をあけて**2回**投与します。
三種混合第1期初回：**3～8週**の間隔をあけて**3回**受けます。
三種混合第1期追加：初回完了後**1年～1年半**の間隔で**1回**受けます。
二種混合第2期：三種混合第1期の基礎免疫完了後**1回**受けます。
麻しん風しん混合（MR）第1期：1～2歳未満で**1回**受けます。
第2期：小学校就学前の1年間で**1回**受けます。
日本脳炎第1期初回：**1～4週**の間隔で**2回**受けます。
日本脳炎第1期追加：初回完了後**およそ1年後**に**1回**受けます。
日本脳炎第2期：第1期完了後、**4～5年**の間隔で**1回**受けます。

●異なる予防接種との間隔

予防接種はその効果及び安全性のため、次の時期をあけるようになっています。

先に受けた予防接種（不活化ワクチン）	先に受けた予防接種（生ワクチン）
三種（二種）混合　日本脳炎	ポリオ　BCG　麻しん風しん混合（MR）
1週間以上あける	**4週間以上あける**

後に受ける他の予防接種

募集

障がい児介助員

市立小・中学校の障がい児の教育活動充実のため、介助をしていただきます。

○資格　障がい児教育に理解のある40歳くらいまでの方（教員免許の有無は不問）

○勤務期間　2007年4月1日～2008年3月31日（休業中は除く）

○勤務時間　午前8時30分～午後4時（週30時間以内）

○申し込み　履歴書を2007年1月9日午後4時まで（必着）に直接または郵送で指導課（〒194－0022、森野1－33－10、☎724・2180）へ。書類審査のうえ、2007年2月上旬に面接を行います。

※履歴書は返却しません。

町田国際交流センター 託児ボランティア

明るく子どもが好きな方、外国籍の子どもたちのお世話をしてくれる方、ボランティアに参加しませんか？

○対象　継続してボランティア活動できる方

○活動日時　日本語教室がある毎週火曜日午前10時～11時30分、及び毎週金曜日午後1時30分～3時（毎月第5週目はお休み）

○活動場所　町田市民フォーラム4階保育・託児室

問町田国際交流センター☎722・4260

障がい児スポーツ教室 指導員

教室参加者への指導及び介助をしていただきます。

○対象　18歳以上で福祉に理解と情熱のある方

○勤務日時　毎週土曜日午後（年間36回程度）

○勤務場所　サン町田旭体育館

○募集人員　若干名

○申し込み　11月17日までに電話で障がい福祉課（☎724・2147）へ。

公開しています

2006年度第1回介護保険苦情相談 調整会議

傍聴を希望される方は、11月26日までに高齢者福祉課（☎724・4048）へご連絡下さい。

○日時　11月27日（月）午後7時～8時30分

○会場　健康福祉会館2階健康教育室

○定員　5人（申し込み順）

第3回 ごみゼロ市民会議

傍聴を希望される方は、事前にごみ減量課（☎797・0530）へご連絡下さい。

○日時　11月18日（土）午前10時～正午

○会場　教育センター（木曽町）

○定員　10人（申し込み順）

第2回町田市地域包括支援センター 運営協議会

傍聴を希望される方は事前に高齢者福祉課（☎724・2146）へご連絡下さい。

○日時　11月24日（金）午後6時30分～8時

○会場　健康福祉会館2階健康教育室

○定員　10人（申し込み順）

ご案内

ひとり親家庭等への 医療費助成

母子家庭や父子家庭などひとり親家庭に対して、医療費を助成します。

【該当する方は申請を】

○対象　①ひとり親家庭の父または母（配偶者がなく、現に18歳未満の児童を扶養している方）②父または母に障がいのある家庭（身体障害者手帳の1・2級及び3級の一部）③父または母が1年以上の拘禁、または遺棄されている家庭④両親がいない児童を養育している養育者

○助成の範囲　医療機関で支払うべき保険診療の自己負担分を助成（住民税が課税されている世帯は一部負担金有り）

※申請者及びその扶養義務者（同居の父・母など）の所得制限があります。所得限度額や申請に必要な添付書類など詳細は子ども総務課へお問い合わせ下さい。

【現況届の提出を】

すでに助成を受けている方は、更新のため、現況届の提出が必要です（用紙は送付済みです）。期日までに手続きをして下さい。

○提出期間　11月13日（月）～24日（金）

※土・日曜日、祝日を除く。

問子ども総務課☎724・2143

町田市民病院だより

漢方外来からのお知らせ

最近、体調が悪くて病院で検査を受けたけれど、特に異常が見つからなかったり、原因がはっきりしなくて心配をされた経験はありませんか？こんな時頼りになるのが漢方です。漢方は自覚症状を重視し、そこから治療につなげていく医学です。西洋医学的には病名がつかないような症状も治療できる場合があります。そして、心と身体を分けて考えず、心身全体を診て薬を決定するのが漢方治療の特徴です。

さらにまた、西洋医学の病名が同じでも、個人の心身の状態が違っていれば処方が異なるのも漢方の特徴です。しかし、漢方といえども副作用がないわけではありません。そこで、市民病院の漢方外来では、一人ひとりの体質や症状に合わせた適切なオーダーメイドの治療を漢方専門医が行っています。煎じ薬、エキス剤いずれも保険診療を行っていますので、何かお困りの症状がありましたら、ぜひ一度ご相談下さい。

○漢方外来担当　菊谷健彦医師、小林瑞医師

○外来日　菊谷医師＝月曜日午前・金曜日午前、小林医師＝木曜日午後

※いずれも電話で予約制（☎722・2230）。

※初診の方は診察前に質問用紙に記入していただきますので、予約の15分前においで下さい。

問町田市民病院☎722・2230（内線572）

金具を取り付け安心の 家具転倒防止金具等取付制度事業

市では福祉サービスの一環として地震、災害における高齢者の安全と財産を守るために、自宅の家具等に金具等を付ける事業を実施しています。利用者には金具代のみ負担していただき、取付代金は市が負担します。取付は委託業者の専門の大工が行います。

○対象　65歳以上の高齢者で1人暮らしの方、または65歳以上の夫婦、兄弟、同居人等で構成される高齢者世帯

問高齢者福祉課☎724・2141